

サイン共通事項

使用書体から文字の大きさ、日本語、外国語の表記などを基準化しています。

使用書体	——	28
文字の大きさ	——	30
日本語の表記	——	31
多言語の表記	——	32
大分市内文化財等 英語表記一覧	——	33
ローマ字の表記	——	36
ピクトグラムの表記	——	38
色彩	——	42
「市章」の活用	——	46
高齢者・車いす使用者・ 障がい者への対応	——	47

使用書体

サインに表示する基本書体は、視認性及び可読性に優れた文字を使用し、誰もが見やすくわかりやすいものとし、和文書体と英数字書体は、一体で併記するため、組み合わせがよい書体を使用します。

和文書体

和文書体については、文字の線幅がほぼ一定で可読性に優れているゴシック系の書体とし、文字にメリハリがあり、より可読性に優れた“角ゴシック書体”を基本とします。

英文・数字書体

英文・数字書体については、ゴシック系の和文書体との調和を考慮し、可読性に優れている“サンセリフ系書体”を基本とします。なお、サンセリフ系とは、和文のゴシック体に相当する英文書体です。

レイアウトは常に正規の文字間隔によるものとし、間隔を調整しないこととします。

和文 書体例

推奨

新ゴ (モリサワ)

愛のあるユニークで

リョービゴシック
(リョービ)

愛のあるユニークで

タイプバンクゴシック
(タイプバンク)

愛のあるユニークで

小塚ゴシックPro
(adobe)

愛のあるユニークで

ヒラギノ角ゴPro
(大日本スクリーン)

愛のあるユニークで

欧文 書体例

推奨

Helvetica

ABCD fghijk 1234/,.

Univers

ABCD fghijk 1234/,.

Frutiger

ABCD fghijk 1234/,.

Rotis

ABCD fghijk 1234/,.

中国語書体 (例)

Sim Hei

云亚球弄琴头丰酌尹

ハングル書体 (例)

Dotum

십삼삼책총털통서자

※中国語書体及びハングル書体は例示であり、ゴシック体を基本とする。

文字の大きさ

文字の大きさは、高齢者、障がい者が見やすく、わかりやすいものとしします。

文字表記の際には、視距離に応じた大きさを選択することとし、それよりも小さすぎるものは避けるようにします。

視距離と文字の大きさ の基本的な考え方

旅客施設ガイドラインにおいては、両眼矯正視力 0.5 を想定し、各々の視距離から判断できるように必要な文字の大きさを視力の定義に即した下表を参考に選択している。

※具体的な文字の大きさについては、デザイン編による

視距離	和文文字高	英文文字高
30mの場合	120mm 以上	90mm 以上
20mの場合	80mm 以上	60mm 以上
10mの場合	40mm 以上	30mm 以上
4～5mの場合	20mm 以上	15mm 以上
1～2mの場合	9mm 以上	7mm 以上

※「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」より抜粋

日本語の表記

ひらがな表記

施設等の名称は漢字表記を原則としますが、障がい者、子どもの利用が多く見込まれる施設の案内、誘導については、ひらがな併記を検討することとします。なお、地名、歴史上の人名など読みにくい漢字にはふりがなを付記するなどの配慮を行う。また、英語圏以外の外国人居住者が多い等の地域性に応じて、ひらがなを併記するなどの配慮を行う。

施設名称

- ・正式名称よりも明らかに理解されやすい通称名、略称がある場合はそれを用いることとします。
- ・類似名称の施設があり、混乱を招くおそれがある場合は正式名称を記載することとします。

数字の表記

原則として算用数字を基本とします。

【例】 11月24日

紀年

西暦による表記を基本とします。日本年号を付記してもよい。

【例】 2013年
2013年（平成25年）

多言語の表記

※1：中国語の表記は簡体字を基本としますが、どちらか一方の使用、または併用も問題ありません。

外国人に対してもわかるよう多言語を表記するものとします。

- ・施設名称の案内について、日本語と共に英語及びローマ字の併記や中国語^{※1}、韓国語を併記することとします。しかし、煩雑でわかりにくいサインになるおそれがある場合は、国際語としても最も一般化している英語のみとします（2言語表示）。併記する場合は、日本語・英語・中国語^{※1}・韓国語の順とします（4言語表示）。
- ・観光地や美術館など、多くの外国人が訪れる施設の案内については、基本、英語を表記するものとします。
- ・多言語の表記については、「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」を参考とするものとします。

大分市 (x)

Oita City (xの3/4)

大分市 (xの3/4)

오이타시 (xの3/4)

- ・ただし、案内サイン等において、版面サイズが十分に確保できない場合など、4言語表示を行うことで見づらくなることが想定される場合においては、日本語と英語の2言語表記を用いるものとします。

大分市 (x)

Oita City (xの3/4)

大分市内文化財等 英語表記一覧

2019/5/8現在

施設等名称	指定	種別	英訳(ローマ字はへボン式に改変)	※備考
いまいちいしだたみ 今市石畳	県史跡	石畳	Imaichi Stone-paved Road	※標識などは Imaichi Stone-Paved Road
さんきんこうたいどうろ(いまいちいしだたみ) 参勤交代道路(今市石畳)	県史跡	石畳	Alternate Attendance Road (Imaichi Stone-paved Road)	※標識などはAlternate Attendance Road(Imaichi Stone-Paved Road)
おおともしいせき 大友氏遺跡	国史跡	遺跡	Otomo Ruins	
おおともしやかたあと 大友氏館跡	国史跡	遺跡	Ruins of the Otomo Palace	
すいていおくらばあと 推定御蔵場跡	国史跡	遺跡	Presumed Site of the Okuraba (Treasury)	
ちゅうせいおおもふないまちあと 中世大友府内町跡	-	遺跡	Ruins of Medieval Funai	
つるさきおちやあと 鶴崎御茶屋跡	-	遺跡	Ruins of Tsurusaki Ochaya (Lodge and Government Office)	
とうじんまちあと 唐人町跡	国史跡	遺跡	Ruins of Tojinmachi	
なんばんぼうえきじょうし 南蛮貿易場跡	-	遺跡	Ruins of the Namban Trading Post	
うえのはるやかたあと 上原館跡	国史跡	遺跡	Uenoharu Palace (Ruins of the Second Otomo Palace)	
つるさきおどり 鶴崎踊	国選択	踊り	Tsurusaki Odori (Tsurusaki Dance)	
よこおかいづか 横尾貝塚	国史跡	貝塚	Yokoo Kaizuka (Yokoo Shell Mound)	
いわたがくえん 岩田学園	-	学校	Iwata Gakuen (Iwata School)	
おおいたまりーんばれすすいぞくかん うみたまご 大分マリンパレス水族館 うみたまご	-	観光施設	Oita Marine Palace Aquarium Umitamago	
もうりくうそうきねんかん 毛利空桑記念館	-	記念館	Mouri Kuusou Memorial Museum	
せいようげきはっしよきねんひ 西洋劇発祥記念碑	-	記念碑	Monument to the Birthplace of Western Theater in Japan	
いくじんとぎゅうにゅうのきねんひ 育児院と牛乳の記念碑	-	記念碑	Monument of Almeida's Foster Home	
せいよういじゅつはっしよきねんひ 西洋医学発祥記念碑	-	記念碑	Monument to the Birthplace of Western Medical Treatment in Japan	
せいようおんがくはっしよきねんひ 西洋音楽発祥記念碑	-	記念碑	Monument to the Birthplace of Western Music in Japan	
でうすどうあと デウス堂跡	-	教会跡	Ruins of the Deusu-do Church	
みずほぎんこうおおいしてん みずほ銀行大分支店	-	銀行	Mizuho Bank Oita Branch	
ほあしほんけしゅぞうぐら 帆足本家酒造蔵	市有形	蔵	Hoashi Honke Sake Brewery	
きりしたんじゆんきよきねんこうえん キリシタン殉教記念公園	-	公園	Oita Christian Martyrs Memorial Park	
ぶんごこくぶんじあとしせきこうえん 豊後国分寺跡史跡公園	-	公園	Bungo Kokubun-ji Temple Ruins Park	
ゆうほこうえん 遊歩公園	-	公園	Yuhu Park	
おおいたじょうしこうえん 大分城址公園	-	公園	Oita Castle Ruins Park (Funai Castle Ruins)	※府内城跡と同一なので併記する
おおたかんづめこうじょう 太田缶詰工場	国登録	工場	Ota Canning Factory	
へつぎわかせんじょうあと 戸次川古戦場跡	-	古戦場	Hetsugi River Historic Battlefield Site	
うしどのこふん 丑殿古墳	県史跡	古墳	Ushidono Kofun Ancient Tomb	
かめづかこふん 亀塚古墳	国史跡	古墳	Kamezuka Kofun Ancient Tomb	
たきおひやつけつよこあなこふんぐん 滝尾百穴横穴古墳群	市史跡	古墳	Takio Hyakketsu Cave Tombs	

施設等名称	指定	種別	英訳(ローマ字はヘボン式に改変)	※備考
ちよまるこふん 千代丸古墳	国史跡	古墳	Chiyomaru Kofun Ancient Tomb	
つきやまこふん 築山古墳	国史跡	古墳	Tsukiyama Kofun Ancient Tomb	
ふるみやこふん 古宮古墳	国史跡	古墳	Furumiya Kofun Ancient Tomb	
ほうらいさんこふん 蓬莱山古墳	県史跡	古墳	Horaisan Kofun Ancient Tomb	
こまきやまこふんぐん 小牧山古墳群	県史跡	古墳群	Komakiyama Kofun Ancient Tombs	
たかさきやましげんどうぶつえん 高崎山自然動物園	-	自然公園	Takasakiyama Natural Zoological Garden	
いけみけじゅうたく 池見家住宅	-	住宅	Ikemi Family Historical Residence	
おおいたぎんこうあかれんがかん 大分銀行赤レンガ館	国登録	住宅	Oita Bank Akarenga-kan (Red Brick Hall)	
きやはんてい キャラハン邸	-	住宅	Callaghan Residence	
ごとうけじゅうたく 後藤家住宅	国重文	住宅	Goto Family Historical Residence	
ほあしほんけ(ふしゆんかん) 帆足本家(富春館)	国登録	住宅	Hoashi Family Residence (Fushunkan)	
もうりくうそうきゅうたく 毛利空桑旧宅	県史跡	住宅	Former Residence of Mouri Kuusou	
もうりくうそうきゅうたく(てんしょうどう) 毛利空桑旧宅(天勝堂)	県史跡	住宅	Former Residence of Mouri Kuusou (Tenshodo)	
もうりくうそうじゅうくあと(ちらいかん) 毛利空桑塾跡(知来館)	県史跡	住宅	Remains of Mouri Kuusou Private School (Chiraikan)	
やまふじ ヤマフジ	-	樹木	Yamafuji (Wisteria brachybotrys)	
ゆすはらはちまんぐうのくす 柞原八幡宮のクス	国天然	樹木	Camphor Tree at Yusuhara Hachimangu Shrine	
ゆすはらはちまんぐうのもり 柞原八幡宮の森	市天然	樹木	Forest at Yusuhara Hachimangu Shrine	
あまべこふんしりょうかん 海部古墳資料館	-	資料館	Amabe Ancient Tomb Museum	
おおいたしれきしりょうかん 大分市歴史資料館	-	資料館	Oita City History Museum	
なんぼんぶんごころりゅうかん 南蛮BVNGO交流館	-	資料館	・ NAMBAN BUNGO KORYUKAN (Otomo Ruins Discovery Center) ・ Otomo Ruins Discovery Center	※表示サイズに応じて選択
たかさきじょうあと 高崎城跡	-	城	Takasaki Castle Ruins	
ふないじょうあと 府内城跡	県史跡 市史跡	城	Funai Castle Ruins	
いなりしゃ 稲荷社	-	神社	Inari-sha Shrine	
かすがじんじゃ 春日神社	-	神社	Kasuga-jinja Shrine	
はやすひめじんじゃ 早吸日女神社	県有形 市有形	神社	Hayasuhime-jinja Shrine	
まるやまはちまんしゃ 丸山八幡社	市有形	神社	Maruyama Hachiman-sha Shrine	
やさかじんじゃ 弥栄神社	-	神社	Yasaka-jinja Shrine	
ゆすはらはちまんぐう 柞原八幡宮	国重文	神社	Yusuhara Hachimangu Shrine	
わかみやはちまんしゃ 若宮八幡社	-	神社	Wakamiya Hachimansha Shrine	
おおいたさんしょうおおよびせいそくち オオイトサンショウウオ及び生息地	市天然	生物	Oita Salamander Habitat	
たかさきやまのさるせいそくち 高崎山のサル生息地	-	生物	Japanese Monkey Habitat at Takasakiyama	

施設等名称	指定	種別	英訳(ローマ字はヘボン式に改変)	※備考
くすぎゅうせきぞうごじゅうのとう 楠木生石造五重塔	県史跡	石塔	Five-story Pagoda at Kusugyu	※標識などは Five-Story Pagoda at Kusugyu
なかませきどう 中間石幢	県有形	石塔	Nakama Sekido	
いわけせきぶつ 岩屋寺石仏	県史跡	石仏	Iwaya-ji Temple Stone Buddha	
おおいたもとまちせきぶつ 大分元町石仏	国史跡	石仏	Oita Motomachi Stone Buddha	
がらんせきぶつ 伽藍石仏	市史跡	石仏	Garan Stone Buddha	
たかせせきぶつ 高瀬石仏	国史跡	石仏	Takase Stone Buddha	
まがりせきぶつ 曲石仏	県史跡	石仏	Magari Stone Buddha	
えんじゆじ 円寿寺	-	寺	Enju-ji Temple	
きょうそんじ 教尊寺	県有形	寺	Kyoson-ji Temple	
こんごうほうかいじ 金剛宝戒寺	-	寺	Kongohokai-ji Temple	
じょうどじ 浄土寺	国登録	寺	Jodo-ji Temple	
とくおうじ 徳応寺	-	寺	Tokuo-ji Temple	
まんじゆじ 万寿寺	-	寺	Manju-ji Temple	
らいこうじ 来迎寺	-	寺	Raiko-ji Temple	
きゅうまんじゆじあと 旧万寿寺跡	国史跡	寺跡	Ruins of Manju-ji Temple	
ぶんごこくぶんじあと 豊後国分寺跡	国史跡	寺跡	Ruins of Bungo Kokubun-ji Temple	
いとうどんまんしょぞう 伊東ドン・マンシヨ像	-	銅像	Statue of Ito Mansho	
せいふらんしすこぎびえるぞう 聖フランシスコ・ザビエル像	-	銅像	Statue of St. Francisco Xavier	
せきざきとうだい 関崎灯台	-	灯台	Sekizaki Lighthouse	
おおともよりやすのはか 大友頼泰の墓	市史跡	墓	Tombstone of Otomo Yoriyasu	
ちょうそかべのぶちかこうぼ 長宗我部信親公墓	-	墓	Grave of Chosokabe Nobuchika	
にしたにばし 西谷橋	市有形	橋	Nishitani-bashi Stone Bridge	
ふないびょういん 府内病院	-	病院	Funai Hospital	
あーとぶらざ アートプラザ	-	文化施設	Art Plaza	
おおいたしまいぞうぶんかざいほぞんかつようせんたー 大分市埋蔵文化財保存活用センター	-	文化施設	Oita City Archaeological Center	
おおいたじょうほうがくしゅうせんたー 大分情報学習センター	-	文化施設	Oita Multimedia Center	
とよのくにじょうほうらいぶらりー 豊の国情報ライブラリー	-	文化施設	Toyonokuni Information Library	
はながきりしたんぼち 花香キリシタン墓地	-	墓地	Hanaga Christian Cemetery	
へつぎほんまち 戸次本町	-	町	Streets of Hetsugi Hommachi	
しざくのみち 思索の道	-	道	Shisaku no Michi (Meditation Path)	

ローマ字の表記

ローマ字表記は、ヘボン式により表記します。

(備考)

1.

はねる音「ン」はnで表すが、m、b、pの前ではmを用いることができる。

2.

はねる音を表すnと次にくる母音字又はyとを切り離す必要がある場合には、nの次に「-」(ハイフン)を入れる。

3.

つまる音は、次にくる最初の子音字を重ねて表すが、次にchがつづく場合にはcを重ねずにtを用いる。

4.

長音は母音字の上に「-」(長音符標)をつけて表すことができる。

長音が大文字の場合は母音字を並べることができる。

(注) 長音符は日本独自のもので、国際化されていないため、外国人に理解されない可能性もある。

5.

特殊音の書き表し方は自由とする。

6.

文の書きはじめ、並びに固有名詞は語頭を大文字で書く。なお、固有名詞以外の名詞の語頭を大文字で書くこともできる。

7.

意味のかたまりや発音のしやすさ等の観点から、複数の名詞等で構成される固有名詞やoが重なる場合等は、その間に「-」(ハイフン)を入れることができる。

日本語音					ヘボン式ローマ字つづり				
あ	い	う	え	お	a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ	ka	ki	ku	ke	ko
さ	し	す	せ	そ	sa	shi	su	se	so
た	ち	つ	て	と	ta	chi	tsu	te	to
な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	fu	he	ho
ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
や		ゆ		よ	ya		yu		yo
ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
わ					wa				
ん					n				
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	ji	zu	ze	zo
だ	ぢ	づ	で	ど	da	ji	zu	de	do
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	pa	pi	pu	pe	po
きゃ		きゅ		きょ	kya		kyu		kyo
しゃ		しゅ		しょ	sha		shu		sho
ちゃ		ちゅ		ちょ	cha		chu		cho
にゃ		にゅ		にょ	nya		nyu		nyo
ひゃ		ひゅ		ひょ	hya		hyu		hyo
みゃ		みゅ		みょ	mya		myu		myo
りゃ		りゅ		りょ	rya		ryu		ryo
ぎゃ		ぎゅ		ぎょ	gya		gyu		gyo
じゃ		じゅ		じょ	ja		ju		jo
ぢゃ		ぢゅ		ぢょ	ja		ju		jo
びゃ		びゅ		びょ	bya		byu		byo
ぴゃ		ぴゅ		ぴょ	pya		pyu		pyo

標記の基準

原則として固有名詞の部分をローマ字で、普通名詞の部分を英訳によって表記する。

バス停名称は、原則として普通名詞の部分も含めてローマ字で表記する。

ただし、慣用上固有名詞と普通名詞に切り離せない場合は、普通名詞の部分も含めてローマ字による表記とし、必要に応じて英語を付記する。

ローマ字の表記はヘボン式とする。(ヘボン式につづり方参照) 和製英語や固有名詞で使われることがあり、ヘボン式につづり方によらない表記は注意する。

長いつづりで読みにくい語は、適宜「-」(ハイフン)を用いてわかち書きとする。

施設名称は原則として正式英訳による。
ただし、英語に慣用化されている略語がある場合はこれを使用してもよい。

企業名などで、英文による略語が慣用化している場合はこれを用い、日本語の音や正式英訳を使用しない。

具体例

大分市役所
Oita City Hall

OASIS-hiroba-mae

大分大学前駅
Oita-daigaku-mae Sta.

sa shi su se so
sha shu sho

Bungo-kokubu Sta.
Rokubou-kitamachi

大分大学 Oita Univ.

NTT
Nippon Telegraph and Telephone Corporation

ピクトグラムの表記

施設等の表記は、案内用図記号及び標準案内用図記号を標準的に使用します。

ピクトグラム使用時の注意事項

※ピクトグラムとは、絵文字や図記号で何らかの情報や注意を示すために用いられる視覚記号

ピクトグラムは、絵文字や図記号で何らかの情報や注意を示すために用いられる視覚記号であり、その内容の緊急性や重要性によって以下のとおり推奨度を変えています。推奨度Cのピクトグラムに関しては、図記号の基本的な概念を変えない範囲で、図形を変更して用いることができます。

【例】



※「地図を用いた道路案内標識ガイドブック」より

ピクトグラム 推奨度 A	安全性及び緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なもの及び移動制約者へのサービスに関わるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを強く要請します。
ピクトグラム 推奨度 B	多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念及び図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。これらについては、図形を変更しないで用いることを推奨します。
ピクトグラム 推奨度 C	多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変更して用いることができます。

推奨度A例示



◆参考資料

国土交通省：案内用図記号

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000145.html

(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団：標準案内用図記号

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/picto_top2017.html

推奨度B例示

					
チェックイン / 受付	忘れ物取扱所	ホテル / 宿泊施設	きっぷうりば / 精算所	手荷物一時預かり所	コインロッカー
					
休憩所 / 待合室	銀行・両替	キャッシュサービス	海外発行カード対応 ATM	充電コーナー	郵便
					
電話	無線 LAN	カート	エレベーター	エスカレーター	階段
					
乳幼児用設備	クローク	航空機 / 空港	鉄道 / 鉄道駅	船舶 / フェリー / 港	バス / バスのりば
					
タクシー / タクシーのりば	レンタカー	一般車	自転車	レンタサイクル / シェアサイクル	駐車場
					
レストラン	喫茶・軽食	バー	ガソリンスタンド	会計	展望地 / 景勝地
					
陸上競技場	サッカー競技場	野球場	テニスコート	海水浴場 / プール	スキー場
					
キャンプ場	温泉	イヤホンガイド	ベビーカー使用禁止	遊泳禁止	キャンプ禁止
					
二列並び	一列並び	三列並び	四列並び		

推奨度C例示



施設の独自ロゴについて

市立の各施設が有するロゴ、トレードマークについては、認知の範囲が市周辺に限られる可能性があること、ロゴ等の示す概念・意味がわかりにくいものもあることから、案内用図記号及び標準案内用図記号を表記した場合のみ追加で使用できることとします。

アイキャッチャーについて

※アイキャッチャーとは、その特徴や機能をピクトグラムで表現することが難しい施設について、人の目を引く施設があることを確認できるように、「■」などで表示するもの。

ピクトグラムのない施設については、視認性を高めるためにアイキャッチャー※「■」を使用し、表示します。

色彩

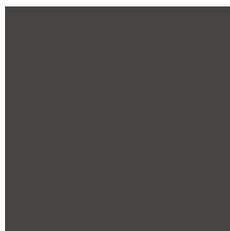
サインの色彩及び配色等は、誰もが見やすくわかりやすいものとします。

なお、高齢者など視覚障がい者へ配慮した色彩を用いることを基本に、以下のとおり留意することとします。

基本的な留意点

- ・色の識別に頼らず、白黒でも内容を識別できるようにする
- ・文字やマークについては色の違いだけではなく、形状の違いもつくる
- ・色を載せる線や文字は太くして、色の面積を広くする
- ・色の塗り分けには、色だけでなくハッチング（網掛け）等を併用する
- ・色の塗り分けの境目は、細い黒線や白抜きの境界線で強調し、色の混同を防ぐ

サイン本体の色彩



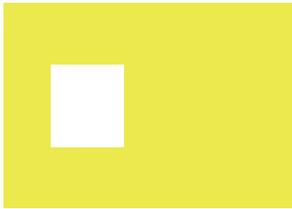
DIC516

サイン本体の色彩は、周囲の街並みや自然との調和を考慮した無彩色（DIC516）3分ツヤを基本とします。なお、無彩色以外の色彩を用いる場合には、景観計画の工作物外壁基調色の色彩の基準以内とします。

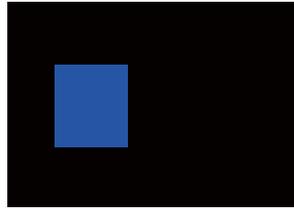
※良好な景観の形成のための行為の制限における工作物の建設等の外壁基調色

ステンレス材等を使用する場合にあっても、塗装を施すものとします。

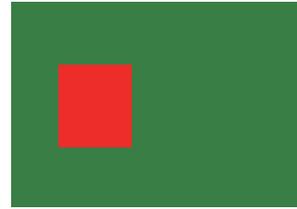
「避ける色彩の組み合わせ例」



✕ 黄と白の組み合わせ



✕ 黒と青の組み合わせ



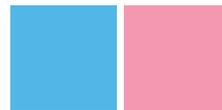
✕ 緑と赤の組み合わせ

赤緑色盲で見えにくい色の組み合わせ（例）

※大多数を占める、第1色盲と第2色盲の場合



青と紫



水色とピンク



明るい灰色と薄い水色



灰色と淡い緑



深緑と茶色



濃い赤と焦げ茶

※赤～緑の領域で認識できる色の差が小さくなる。その反面、青色への感度が高い傾向にある。なお、彩度の低い色の識別も難しい為、避ける必要がある。



明るい茶色とオレンジと明るい緑



赤と緑と青緑



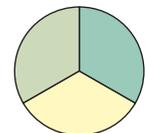
黄色と黄緑と淡い青緑



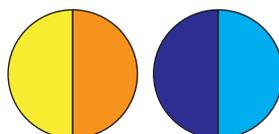
暖色だけ



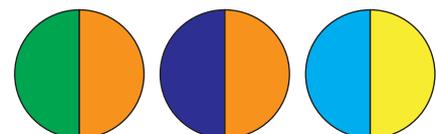
寒色だけ



パステル調だけ



明度は対比しているが、暖色または寒色系同士の組み合わせ



寒色・暖色は対比しているが、明度が近い組み合わせ

『ユニバーサルデザインにおける色覚バリアフリーへの提言』参照

案内地図などの図示 について

地勢、及び公園・緑地を示す場合には、それらが自然に見える色彩を使用します。河川、海など水系には青を、丘陵や公園・緑地は緑をそれぞれ基調としてください。



現在地

重層した情報がおさめられた地図内で、最も視認性の重要度が高いのが現在地マークです。自然な色を基調とした地図面の中にあつて、現在地マークだけが目立つ赤色を用いるのは上記の理由によります。現在地マークの基本色は日本塗料工業会 Y05-40X (赤) とします。この色を基本として、地図の色調に合った赤系の色を選ぶこととします。

※現在地の表記については、利用者が向いている方向を考慮します。英語表記は「You are Here」とします。地域案内図の他、広域図にも表記します。

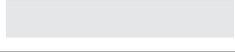


日塗工 Y05-40X (赤)



現在地マークはなるべく地図の中央に、周辺の情報と重ならないように表示し、一目で見つけられるように配置します。色弱者にとっては、明度や彩度の似た色の判別が困難であること、色の見え方が一様ではないことを意識し、現在地マークをはじめ記号を使う場合は、下地色(背景色)に配慮したり、文字情報を併記したりするなどの工夫をしてください。

案内図の使用色

区分	施設名	色彩例	色(Pantone No.)及び仕様	(参考)CMYK 値
緑地	森		Pantone : 376C 枠線 無し	C60/M0/Y100/K0
	公園・緑地		Pantone : 390C 枠線 無し	C40/M0/Y100/K0
	緑道		Pantone : 5865C 枠線 無し	C0/M0/Y30/K10
	水域 湖、池、河川		Pantone : 292C 枠線 無し	C50/M10/Y0/K0
施設	敷地		Pantone : 467C 枠線 線幅：0.1mm Pantone: Process Black	C10/M20/Y40/K0 C0/M0/Y0/K100
	名称表記 一般施設		Pantone : Warm Gray 1C 枠線 無し	C0/M0/Y0/K10
	駅舎 高架等		Pantone : Warm Gray 1C 枠線 線幅：0.2mm Pantone: Process Black	C0/M0/Y0/K10 C0/M0/Y0/K100
	歩道橋 ベデストリアンデッキ		Pantone : Warm Gray 1C 枠線 線幅：0.2mm Pantone: Process Black	C0/M0/Y0/K10 C0/M0/Y0/K100
道路	高速道路等		Pantone : Warm Gray 4C 枠線 線幅：0.2mm Pantone: Process Black	C30/M30/Y30/K0 C0/M0/Y0/K100
現在地	現在地表示		Pantone : Red 032 C 枠線 無し 白文字表示	C0/M100/Y100/K0
鉄軌道	鉄道軌道		Pantone : Cool Gray 9C 線幅：3.0mm	C0/M0/Y0/K65
	地下鉄軌道 (トンネル部)		Pantone : Cool Gray 9C 線幅：3.0mm 破線	C0/M0/Y0/K65
	バス路線		Pantone : Red 032 C 線幅：0.35mm	C0/M100/Y100/K0
境界線	区境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅：2.0mm 一点鎖線	C0/M0/Y0/K55
	町境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅：1.0mm 破線	C0/M0/Y0/K55
	丁目境界線		Pantone : Cool Gray 8C 線幅：1.0mm 点線	C0/M0/Y0/K55
バリアフリー経路			Pantone : Red 032 C 線幅：3.0mm 点線	C0/M100/Y100/K0

その他の指定色

安全色青		C100/M60/Y10/K0	横断歩道		C0/M0/Y0/K40
安全色緑		C100/M20/Y70/K0	住所等グレー文字		C0/M0/Y0/K65
安全色黄		C0/M20/Y90/K0	歩道橋階段		C0/M0/Y0/K55

「市章」の活用

案内サインや誘導サインにおいて、「市章」を使用することで、市が設置したサインであることが一目でわかる統一性のあるサインとなり、歩行者に安心感を与えながら目的地までの誘導を行うことができます。また、市の施設の中で、その特徴や機能をピクトグラムで表現することが難しい施設については、市章を使用することで、最低限、市の施設であることを表すことができます。

留意点

- ・「市章」と「大分市」のロゴは一体で使用する。
- ・「大分市」ロゴの書体は、指定書体・推奨書体を使う
- ・他の文字や記号から離して配置する。
- ・正しい色で使う。



高齢者・車いす使用者・障がい者への対応

高齢者への対応

高齢者の見やすさに配慮し、サインの表示方法の文字の大きさや色彩、設置方法の位置や高さに配慮し設置するものとします。

車いす使用者への対応

車いす使用者の見やすさに配慮し、案内サインや誘導サインの図面の高さは、板中心が 1,250mm とします。また、傾斜や段差などがある場所への設置は避け、周囲には十分な空間を確保するものとします。

視覚障がい者、聴覚障がい者への対応

視覚障がい者や聴覚障がい者が利用することが多い施設及びその周辺に設けられる案内サインについては、周辺環境を十分に踏まえた上で、必要に応じ、点字、音声、その他の方法により案内する装置を設けることとします。

点字・音声による方法

視覚障がい者や聴覚障がい者に対する音声案内、触知図の導入に際しては、機器の形態、端末の要否、利用環境など、利用する視覚障がい者や聴覚障がい者等の意見をよく聞くとともに、機器の汎用性を考慮することが必要です。

